

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年11月6日(2014.11.6)

【公開番号】特開2014-180400(P2014-180400A)

【公開日】平成26年9月29日(2014.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-053

【出願番号】特願2013-56384(P2013-56384)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月9日(2014.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行って表示結果を導出する可変表示手段に予め定められた特定表示結果が導出されたときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

画像が表示される画像表示手段と、

前記遊技機の消費電力を低下させる省電力制御を行う省電力制御手段と、

前記省電力制御に伴って、前記画像表示手段を特定の表示状態とする特定表示状態制御手段と、

を備え、

前記画像表示手段は、可変表示の状態を報知する表示が行われる可変表示状態報知領域を含み、

前記特定表示状態制御手段は、前記画像表示手段における前記可変表示状態報知領域以外の領域を前記特定の表示状態とし、

前記遊技機はさらに、

所定の動作を行う可動部材と、

可変表示に関連して可変表示演出を実行する可変表示演出実行手段と、

可変表示演出において前記可動部材を動作させる可動部材演出を実行する可動部材演出実行手段と、

前記可動部材演出が終了したときに、前記可動部材を予め定められた復帰位置に復帰させる復帰動作を実行する復帰動作実行手段と、

を備え、

前記可変表示演出実行手段は、前回実行された可変表示演出において前記可動部材演出が実行されていたときに、該可動部材演出の終了後に前記復帰動作が完了しているか否かに関わらず、新たな可変表示演出を開始可能であり、

前記復帰動作実行手段は、前記復帰動作の完了前に新たな可変表示演出が開始されたときに、当該可変表示演出において前記可動部材演出が実行され得る最も早いタイミングまでに前記復帰動作を完了させる、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

可変表示を行って表示結果を導出する可変表示手段に予め定められた特定表示結果が導

出されたときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、
可変表示の状態を報知するために発光する状態報知用発光手段を含む複数の発光手段と、
前記発光手段を消灯状態にする又は明度を低下させる省電力制御を行う省電力制御手段と、
を備え、

前記省電力制御手段は、前記発光手段に対する省電力制御を行う際に、前記状態報知用発光手段以外の発光手段を消灯状態にする又は明度を低下させ、

前記遊技機はさらに、
所定の動作を行う可動部材と、
可変表示に関連して可変表示演出を実行する可変表示演出実行手段と、
可変表示演出において前記可動部材を動作させる可動部材演出を実行する可動部材演出実行手段と、

前記可動部材演出が終了したときに、前記可動部材を予め定められた復帰位置に復帰させる復帰動作を実行する復帰動作実行手段と、

を備え、
前記可変表示演出実行手段は、前回実行された可変表示演出において前記可動部材演出が実行されていたときに、該可動部材演出の終了後に前記復帰動作が完了しているか否かに関わらず、新たな可変表示演出を開始可能であり、

前記復帰動作実行手段は、前記復帰動作の完了前に新たな可変表示演出が開始されたときに、当該可変表示演出において前記可動部材演出が実行され得る最も早いタイミングまでに前記復帰動作を完了させる、
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、遊技を実行可能な遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

遊技機では、画像表示装置の表示画面の一部や、遊技機に設けられたLED等を用いて、遊技者に対して可変表示の状態を報知することが行われる。このような場合に、上述したような省電力制御が行われると、画像表示装置の表示画面が非表示になったり、LED等が消灯してしまい、遊技者が可変表示の状態を認識することができなくなってしまう。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この発明は、上記実状に鑑みてなされたものであり、消費電力を抑えつつ、遊技者が可変表示の状態を認識することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 上記目的を達成するため、本願の第1の観点に係る遊技機は、可変表示を行って表示結果を導出する可変表示手段（例えば、第1特別図柄表示装置4A、第1特別図柄表示装置4B）に予め定められた特定表示結果が導出されたときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、画像が表示される画像表示手段（例えば画像表示装置5など）と、前記遊技機の消費電力を低下させる省電力制御を行う省電力制御手段（例えば図15のステップS160の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、前記省電力制御に伴って、前記画像表示手段を特定の表示状態とする特定表示状態制御手段（例えば図15のステップS305の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、を備え、前記画像表示手段は、可変表示の状態を報知する表示が行われる可変表示状態報知領域（例えば画像表示装置5における第4図柄表示領域5a、5bなど）を含み、前記特定表示状態制御手段は、前記画像表示手段における前記可変表示状態報知領域以外の領域を前記特定の表示状態とし（例えば第4図柄表示領域5a、5bにおける画像の表示を継続し、他の領域を画像が非表示の状態とすることなど）、前記遊技機はさらに、所定の動作を行う可動部材と、可変表示に関連して可変表示演出を実行する可変表示演出実行手段（例えば、演出図柄の可変表示を実行する部分）と、可変表示演出において前記可動部材を動作させる可動部材演出を実行する可動部材演出実行手段（例えば、演出図柄の可変表示中に予告演出として役物を動作させる部分）と、前記可動部材演出が終了したときに、前記可動部材を予め定められた復帰位置に復帰させる復帰動作を実行する復帰動作実行手段（例えば、役物を動作により移動した動作位置から本来収容される収容位置に復帰させる復帰動作を行う部分）と、を備え、前記可変表示演出実行手段は、前回実行された可変表示演出において前記可動部材演出が実行されていたときに、該可動部材演出の終了後に前記復帰動作が完了しているか否かに問わらず、新たに可変表示演出を開始可能であり、前記復帰動作実行手段は、前記復帰動作の完了前に新たに可変表示演出が開始されたときに、当該可変表示演出において前記可動部材演出が実行され得る最も早いタイミングまでに前記復帰動作を完了させる、ことを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

このような構成によれば、画像表示手段の消費電力を低下させる省電力制御が行われる場合であっても、画像表示手段における可変表示状態報知領域は省電力制御の対象から除外され、画像表示を継続する。このため、省電力制御により遊技機の消費電力を抑えつつ、遊技者は可変表示の状態を認識することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(2) 上記目的を達成するため、本願の第2の観点に係る遊技機は、可変表示を行って表示結果を導出する可変表示手段（例えば、第1特別図柄表示装置4A、第1特別図柄表示装置4B）に予め定められた特定表示結果が導出されたときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、可変表示の状態を報知するために発光する状態報知用発光手段を含む複数の発光手段（例えば遊技効果

ランプ9及び第4図柄LED42a、42bなど)と、前記発光手段を消灯状態にする又は明度を低下させる省電力制御を行う省電力制御手段(例えば図15のステップS160の処理を実行する演出制御用CPU120など)と、を備え、前記省電力制御手段は、前記発光手段に対する省電力制御を行う際に、前記状態報知用発光手段以外の発光手段を消灯状態にする又は明度を低下させ(例えば演出制御用CPU120による図20のステップS405の処理など)、前記遊技機はさらに、所定の動作を行う可動部材と、可変表示に関連して可変表示演出を実行する可変表示演出実行手段(例えば、演出図柄の可変表示を実行する部分)と、可変表示演出において前記可動部材を動作させる可動部材演出を実行する可動部材演出実行手段(例えば、演出図柄の可変表示中に予告演出として役物を動作させる部分)と、前記可動部材演出が終了したときに、前記可動部材を予め定められた復帰位置に復帰させる復帰動作を実行する復帰動作実行手段(例えば、役物を動作により移動した動作位置から本来収容される収容位置に復帰させる復帰動作を行う部分)と、を備え、前記可変表示演出実行手段は、前回実行された可変表示演出において前記可動部材演出が実行されていたときに、該可動部材演出の終了後に前記復帰動作が完了しているか否かに関わらず、新たな可変表示演出を開始可能であり、前記復帰動作実行手段は、前記復帰動作の完了前に新たな可変表示演出が開始されたときに、当該可変表示演出において前記可動部材演出が実行され得る最も早いタイミングまでに前記復帰動作を完了させる、ことを特徴とする遊技機。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

このような構成によれば、複数の発光手段を消灯状態にする又は明度を低下させる省電力制御が行われる場合であっても、複数の発光手段の一部である状態報知用発光手段は省電力制御の対象から除外され、発光を継続する。このため、省電力制御により遊技機の消費電力を抑えつつ、遊技者は可変表示の状態を認識することができる。